

食味の良い、夏系のアールスメロン新品種候補、赤肉‘秋試交24号’の育成

椿 信一・檜森靖則

(秋田県農業試験場)

Breeding of a New Muskmelon Cultivar for Late Raising Culture

“Akishiko-24” with High Flavor Quality

Nobuichi TSUBAKI and Yasunori HIMORI

(Akita Agricultural Experiment Station)

1. はじめに

2000年に発表した緑肉アールスメロン‘秋田甘えんぼ’は、食味の良さから本県抑制メロンの主要品種となり、その栽培面積も増加している。一方、北海道産の「夕張メロン」をはじめとした赤肉メロンも人気が高く、需要も依然として多い。そこで‘秋田甘えんぼ’の食味を受け継ぐ赤肉のアールスメロンを育成した。

2. 育成経過

‘秋試交24号’はアールスメロンと純系アールスメロンのF1品種である。母本は‘クレスト春秋系’に‘パリス春Ⅱ’を交配し、その後代を選抜固定したアールス系で、果肉が橙色で果実外観と日持ち性に優れ、うどんこ病に強く、つる割病の抵抗性を保持している。父本は‘秋田甘えんぼ’と同じく、純系アールスの一品種‘Earl’s Favorite夏系’の選抜固定系統で、極めて食味が良い(図1)。

3. 特性概要

(1) 生育特性

‘秋田甘えんぼ’より草丈が高いが、開花までの日数はほぼ同等である。両性花の着生が高率で着果も安定しており、収穫期まで葉色が濃く、草勢が強く維持されるため、栽培しやすい(表1)。

(2) 病害抵抗性

‘秋田甘えんぼ’と同様に、つる割病(レース0、レース2)に抵抗性で接ぎ木が不要であり、うどんこ病に対しては中程度の抵抗性を示す(表1)。

(3) 果実外観特性

大きさが適度で果形は球形に近い。果皮色は灰緑、ネットはやや高で縦と横のバランスが良い(表2、図2)。

(4) 果実内部特性

果肉が橙色で、肉質が緻密な溶質で純系アールスに極めて近く、食味が良い(表2、図2)。

4. 栽培、普及上の留意点

‘秋田甘えんぼ’と同様に夏系に分類され、果実肥大期が高温期にあたるハウス抑制栽培(4月下旬~7月上旬播種、8月下旬~10月下旬収穫)に適する。

同一の栽培条件では、‘秋田甘えんぼ’とほぼ同一外観の果実を収穫できることから、大きさを揃えた緑肉メロンと赤肉メロンのセット販売が可能となる。

5. まとめ

地床栽培可能な、夏系のアールスメロン‘秋試交24号’を育成した。先に育成した緑肉アールスメロン‘秋田甘えんぼ’の赤肉タイプで、抑制作型で栽培しやすく、果肉が橙色で食味が良い(種苗登録申請中)。

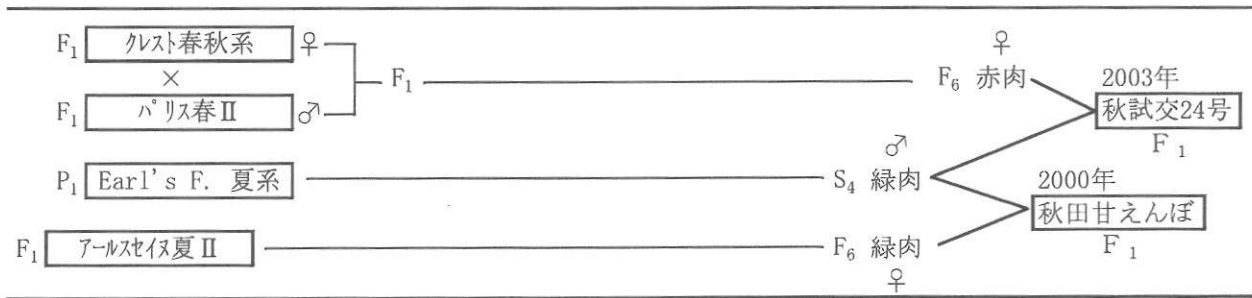


図1 育成系統図

表1 生育特性と病害抵抗性 (2003年 育成地)

品種名	草丈 ^z (cm)	展開 ^z 葉数 (枚)	葉長 ^z (cm)	開花 ^y 日数 (日)	両性花 着生率 (%)	着果 節位 (節)	茎 径 (mm)	草勢	成熟 ^x 日数 (日)	病害抵抗性		
										つる割病 ^w		
										レース0	レース2	うどんこ病 ^v
秋試交24号	136	20.3	33.8	28	94	11.3	11.7	やや強	63	R	R	中
秋田甘えんぼ (対照)	117	19.8	33.8	29	96	11.4	11.5	やや強	63	R	R	中
アールスメイト夏系2号(参考)	137	20.9	33.9	28	98	11.8	10.5	中	63	R	R	中

データは2作期の平均値 早まき; 播種: 6月26日、定植: 7月18日、収穫: 10月16日。遅まき; 播種: 7月3日、定植: 7月25日、収穫: 10月23日。ビニールハウスにて栽培。 z: 第10節側枝開花時の調査 y: 定植～開花 x: 開花～収穫 w: 幼苗接種検定の結果; S(罹病性)、R(抵抗性) v: 圃場での発病程度より評価

表2 果実特性 (2003年 育成地)

品種名	果重 ^z (kg)	縦/横 比	果皮 色	ネット			糖度 Brix (%)	果肉			食味 ^z
				密度	太さ	高さ		色	硬さ	溶質(緻密)	
秋試交24号	1.63	0.97	灰緑	中	やや太	やや高	15.0	橙	軟	溶質(緻密)	4.1
秋田甘えんぼ (対照)	1.61	0.98	灰緑	中	中	やや高	15.1	白黄緑	軟	溶質(緻密)	4.0
アールスメイト夏系2号(参考)	1.59	1.05	灰緑	中	やや太	やや高	15.1	白黄緑	中	溶質(粗)	3.6

耕種概要は表1に準ずる z: 1(極劣), 3(中), 5(極良)

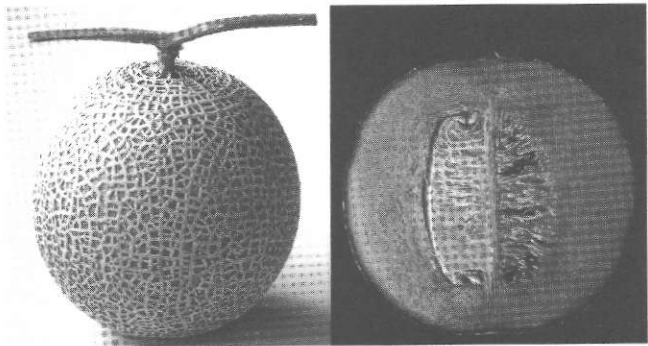


図2 ‘秋試交24号’の果実外観と内部